

令和2年5月22日

保護者様

京都市立北総合支援学校
校長 伊丹由紀

学校の再開にあたり

日ごろより、本校教育の推進に、ご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。昨日21日に京都府の緊急事態宣言が解除となり、6月1日からの学校再開が正式に決定しました。この間、皆様には、多大なるご協力をいただきましたこと、深く感謝申し上げるとともに、再開後の感染防止の徹底について、気持ちを引き締めているところです。ようやく学校が始まり、子どもたちに会えるという喜びを噛みしめ、今後、今より感染が拡大することのないよう、一人一人が当たり前のこととして、感染予防に努め、ソーシャルディスタンスに心がけていく社会になることを願っています。

休校中、たくさんの動画等の教材を配信させていただきましたが、オンライン会議や研修会など、私たち教職員にとっても、これまでにあまりないことを経験する期間となりました。始めは戸惑っていた教職員も徐々に積極的にアイディアを出し、生き生きとパソコンに向かう姿が見られるようになりました。情報処理端末だけにとらわれるではありませんが、子どもたちがより興味を広げ理解を深めることができるように、今後はさらに新しい教え方や学び方の改革が必要になってくるのだと思います。

本日、「学校の再開について」登校のスケジュールを示したプリント、感染予防と学習保障の観点から今後の学校生活についてまとめた「北総合支援学校スタンダード（保護者配布版）」という冊子、そして6月1日からの健康観察票等を郵送させていただきました。内容をご確認いただきますようお願いいたします。

学校行事等につきましては、中止するものや状況を見て秋以降に実施するもの、形態を変えて実施するものなどを検討しています。宿泊学習につきましては、調理や飲食とともにするなど密をさけられないため、今年度は実施いたしません。また、公共交通機関や施設等を利用する活動等感染のリスクが高いと考えられる学習については、当面行いません。ただし、今後の状況によって、さらなる変更もあり得ます。耳鼻科検診等の学校医による保健関係の行事は、9月以降に随時実施していく予定です。スクールバスにつきましては、教育委員会とも相談を重ね、マイクロバスを増車し、乗車人数の緩和を図る対応を取らせていただきます。別紙配布プリントをご参照ください。マイクロバスは、今後約2か月間の運行予定です。

子どもの健康といのちを守るために、感染防止の観点からやるべきことを継続し、その上で、授業づくりにこれまで以上に力を注ぎ、取り組んでまいりたいと考えております。何卒ご理解の程、お願い申し上げます。